

## 令和8年度 子ども・子育て支援に関する主な予算（新規事業）について

No.	事業名称	所属名	予算額 (千円)	事業概要
1	こどもの睡眠改善事業費	子ども未来課	1,000	桑名オープンフィールド構想のもと、Good Sleep KUWANA睡眠プロジェクトを立ち上げ、「一般社団法人 寝る子は育つ協会」と協力して、小中学校からモデル校を募集し、こども、保護者への睡眠に関する啓発、睡眠を通じた生活習慣の改善を図ることで、学力向上、心身の健康増進、ウェルビーイングの向上、長期欠席者の減少などを旨とする。また、保育所や子育て支援センターで保護者を対象とした市民向け講座や啓発を実施し、就学前からも睡眠の重要性を伝える。
2	就学前教育・保育環境整備推進事業費	幼保支援課	1,215	私立保育施設・幼稚園との連携・協力体制の構築を図りながら、教育・保育の質の向上を図るとともに、持続可能な就学前教育・保育環境を整備するため、「桑名市就学前教育・保育環境整備推進会議」を設置し、関係者との協議を図りながら具体的な施策や取組みにつなげていく。
3	乳児等通園支援事業費 (こども誰でも通園制度)	幼保支援課	12,220	生後6か月から満3歳未満で保育所等に通っていないこどもを育てている家庭が、時間単位で柔軟に保育所等を利用できる乳児等通園支援事業、いわゆる「こども誰でも通園制度」について、令和8年度から事業実施する。
4	1か月児健康診査事業費	子ども総合センター	6,785	生後1か月頃に行う健診に対し、費用を全額助成することで、全ての児が健診を受けやすい体制を整備する。また、1か月児健診を受けることで、病気や異常の早期発見、保護者へ育児に関する助言を行い、育児不安の解消につなげる。
5	RSウイルス母子免疫ワクチン事業費	子ども総合センター	25,668	妊娠28週から37週に至るまでの妊婦が1回接種するRSウイルスワクチンに対し、費用を全額助成することで、出生した児が新生児期から乳児にかけて、RSウイルスに感染した際の重症化を予防する。